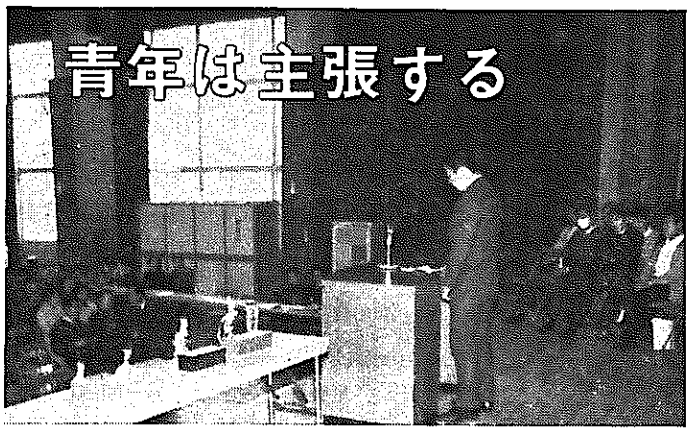
事なかれ主義を直そう

新春青年の主張大会　一位に福島君

―若者の主張の場をつくろう―と、市青年会議は、一月二十一日(日)産業厚生会館で「第三回白根市新春青年の主張大会」を開きました。この日は〝若者が何を主張するか〟を聞こうと、約百五十人が集まり、十八人の主張を熱心に聞いていました。このあと、北信越高校弁論大会で一位になった、小林みどりさん（白根高校）から「読書王国の建設」という模範弁論もありました。（写真は若者の声がたくさんでた主張大会）



審査の結果、一位には福島一隆治君（市役所）の「私の青年像」が、二位には畝美智子さん（教育委員会）の「こんな仕事に一生を捧げたい」が、三位には谷川アイ子さん（勤労青年学級）の「一女性としての私の願い」と小林正雄君（理研）の「四年間に学んだこと」がそれぞれ入賞しました。

つぎに、一位になった「私の青年像」の概略を紹介します。

「私の青年像」福島隆治

私はいま福祉事務所に勤めています。私がまだ学生だったころ、学友との話し合いの中で必ず話題になったのが、自分たちの進むべき道でした。定時制という環境上、自分たちの希望を無視する大きな障害がありました。しかし我々はまだ恵まれている、夜間中学に通っている人さえいるではないか。自然話しの結論は「不幸な人たちのために少しでも自分たちの力を役立てたい」ということでした。先輩から、日本はアジアの一等国でありながら福祉行政の遅れや貧富のはげしいことなどを聞き、私たちは「この仕事だ」と思いました。ある者は保母に、ある者は大学や民間会社へとおのおのの道に進みました。しかし実際その仕事にたずさわったとき、現実との矛盾を感じないわけにはゆきませんでした。保育所の入所が私の最もいきどおりを感じた一つです。今日の日本の政治が権力に弱いことは認めます。しかし少なくとも、福祉行政に権力のはいり込むのを私は許すことができません。最近の風潮として、自分の得にならない発言や行動をことごとく嫌う傾向があります。いわゆる「事なかれ主義」です。このようなことは「まずおとなから直せ」と訴えたいのですが強要はしません。私はそれを、我々と同じ仲間の青年に訴えたいのです。自分の損得を考えた上での発言や行動には、私は真実性を感じません。私たちのまわりには、理屈に合わない理屈が大手をふってまかり通っています。私たち青年は大きく目を見開いて現実を的確にとらえ、正しいと信ずることに全力を傾けようではありませんか。青年がその意気に燃えてこそ、この白根市の発展があり、日本の飛躍があり、世界に平和がくるものと信じます。悪と矛盾のはびこらない社会を、みんなで考えようではありませんか。

アッ！危ない

時々空気の入れ替えを

【ガス1】電気器具、ガス、石油器具、車の普及などで、わたくしたちの生活は、年々文化的な生活へと進歩し、便利になってきました。しかし、皮肉にも、それらの普及を追いかけるようにして、器具の操作やチョットした気のゆるみで思わぬ事故につながる危険もふえてきました。ここ数回は、これらの器具の取り扱い方について紹介してゆきます。

当市に都市ガスが供給されてから三年。その間ガス関係の火災は九件発生し、中毒などの事故も毎年発生しています。そこで、まずガス器具の取り扱い方について説明してゆきます。

◇ガスが燃えるには、ガス量の十倍以上の空気が必要です。密閉したままのふろ場の中でガスをつけていたり、空気の出はいりのない部屋で、ガスストーブを長時間つけていたりすると、空気の中の酸素が消費され、不完全燃焼して有害な一酸化炭素が発生し、中毒などの事故になります。時々新しい空気と入れ替えることを忘れないでください。

ふろや瞬間湯沸かし器のあるところでは、とくに換気装置が必要です。

◇都市ガスの管にプロパンガスの管を接続すると、都市ガスの本管にプロパンガスがはいることがあります。そうすると、プロパンガスは都市ガスより重いため、近所の家でガスもれがしていた場合部屋のすみなどに停滞します。それに引火した場合、爆発などの大きな事故になりかねません。プロパンガスと都市ガスは絶対につながないでください。

◇ビニールホースは硬化しやすい上に、弾力性がないので危険です。ホースは必ず良質でゴム制のものをお使いください。

◇たとえ良質のゴムホースでも、長く使っていると弾力性がなくなり、知らないうちに「目に見えないヒビがはいっていた」ということがあります。こんな場合は早目にホースを取り替えてください。

（次号につづく）

驚巻分団を表彰

消防出初め式で無火災分団として

一月六日、白根神社の境内で、恒例の消防出初め式が行なわれました。この日は、市内の九消防分団が整列し〝ことしこそは火事が出ないように〟とお祈りをしました。つづいて、吉沢市長や今井消防団長からあいさつを受けたあと、昨年一年間無火災だった驚巻分団の表彰が行なわれました。式終了後、市役所前で初の放水演習をやり、元気なところを披露しました。

写真は初の放水演習をやる消防団

世界の願い交通安全

交通安全年間スローガン決まる

ことし一年間の「全国統一スローガン」が決まりました。これは、全日本交通安全協会が主催して全国から応募のあった中から選んだものです。

昨年は「アッ危ない！そのスピードが死を招く、一秒待つ心のゆとりが身を守る、とび出すな車は急に止まれない」という三つのスローガンで交通安全を呼びかけてきましたが、県内では、史上最高といわれる一万五百五十五件（前年比十七・六％増）という驚くべき事故数を記録しました。市内でも、いままで二百件を越えたことがなかったのに、昨年は二百五十五件（前年比三十六・四％増）という事故数を記録しました。

ことしは、つぎのスローガンのもとで「交通安全」の意識をより強め、みんなで事故防止につとめましょう。

あなたは今、安全運転をしていますか＝運転者向け

さあ青だ、いやもう一度右左＝歩行者向け

あそびません、こわいくるまのとおるみち＝子ども向け

世界の願い交通安全＝一般向け

臼井、大郷地区で献血

1月30日3カ所の採血場所を備えた日赤県支部の移動採血車「ゆうあい号」が、臼井大郷の両地区で地区民から献血を受けていました。いままでは日赤白根地区が中心に行なっていましたが、ことしからは市が中心になり、市保健会、住み良い郷土建設協会、部落会などに呼びかけ行なったものです。

写真は、献血を行なう市民（臼井地区で）

新町通りの片側を駐車禁止

県公安委員会と白根署は、二月五日から三月末まで、新町通りの片側を駐車禁止にしました。禁止指定区域は新町通りのうち、諏訪ノ木の渋谷自転車店前から能登の寺沢鉄工所前までで、二月中は西側を、三月中は東側をそれぞれ禁止します。

この規制は、冬期間の積雪による交通困難の緩和と、除雪作業の円滑化をはかろうと行なったものです。

所得・住民・事業税の申告書提出は3月15日まで

所得税の申告と納税は三月十五日です。また、住民税と事業税の申告も三月十五日までです。忘れないようにしてください。

◇所得税の確定申告書を提出する人は、原則として、四十二年中にあった各種所得金額の合計から、基礎控除額十四万七千五百円と配偶者、扶養、障害者、老年者控除などの控除額を控除して計算した税額が、配当控除額より多いかたです。

◇事業税の申告書を提出しませんと、事業主控除だけしか受けられませんので、忘れずに申告してください。

贈与税などの申告も

四十二年中に、つぎのような事実があった場合は、税務署か税務課へ必ず申告してください。

◇四十万円以上の土地、建物、現金などをもらった場合

◇土地や建て物を売ったり、買い替えたりした場合

風協会長に須田さん

星野前会長の辞任で空席になっていた風合戦協会長に須田太郎さん（能登）が、副会長に保倉甚三郎さん（桜町）がそれぞれ新任されました。

訂正とおわび

先月号の広報しろねの記事で、ライオンズクラブ（山崎久弥会長）とあるのは、藤村平七会長の誤りでしたので、訂正しておわびいたします。

市役所の課の配置一部変更

市役所の課の配置が、つぎのように一部変更されました。おまちがいのないようにしてください。

教育委員会は分室から産業厚生会館の旧売店あとへ、農政課は教育委員会あとへ、保健課は本庁の農政課あとへ、監査委員会は議会事務局あとへ、議会事務局と議員控室は保健課あとへ。

保険料払い込み証明書申請者だけに発行

簡易保険の払い込み証明書（年間九千円以上払い込み契約をしたもの）の発行方法がつぎのように変わりました。

いままでみなさんから、証明書発行の申請がなくとも同証明書を郵送していましたが、ことしから申請のあったものに限り発行することになりました。証明書が必要なかたは、領収帳をそえて、直接郵便局へお出かけください。

農業委員選挙

投票日は三月二十六日

白根市選挙管理委員会は、昭和四十三年の第一回委員会を二月三日市役所で開き、三月三十日任期満了になる農業委員の選挙に関する日程を、つぎのとおりきめました。

それによると、三月十六日告示、同十九日立候補締め切り、二十六日投票となっています。この農業委員に立候補しようとするかたで、選挙権被選挙権を有するかたは、告示の日から四日間のうちに、文書で選挙長に届け出ることができます。

なお、立候補などの手続きについてくわしく知りたいかたは、市選管へ問い合わせください。

三月の農地相談室

農業委員会は、来月の農地相談室をつぎのとおり開きます。農地の売買、交換、転用など、すべての農地問題は、近くの相談室へ気軽にお出かけください。

3月18日	在室	田瀬根
	臼井	郷
	新飯	曽
19日	庄大	茨巻
21日		
22日		鷲

お知らせ

2月22日　行政相談所を開設

つぎのような方法で、今年度最後の「行政相談所」を開設します。国、県、市などの行政全般についての苦情、意見要望など、どんなことでも無料で相談に応じます。相談された内容は他に絶対もれる心配はありませんので、安心して相談にお出かけください。

1.とき　二月二十二日(木)午後一時から四時まで

2.ところ　産業厚生会館四階和室

2月25日　青年芸能大会

市連合青年団は、つぎのような方法で「市青年芸能大会」を開きます。たくさんのかたがお出かけください。なお入場は無料です。

1.とき　二月二十五日午後一時から

2.ところ　産業厚生会館の講堂

3.催しもの　①舞踊＝日本舞踊、バレエ、郷土芸能②音楽＝歌、合唱、合奏③演劇

体験論文を募集

〝放送利用による集団活動をいっそう活発にしよう〟と放送利用農業集団中央推進協議会とNHKは、つぎのような方法で、全国の農村教育関係者から放送利用の指導について体験論文を募集しています

1.テーマ　私は農村での放送利用をこのようにして進めた。

2.応募資格　グループリーダー、担当者、普及員、専門技術員、学識経験者、篤志指導者など、農村教育関係者ならどなたでも応募できます。

3.応募原稿　④四百字詰め原稿用紙五枚程度⑤応募原稿には住所、氏名、年齢、職業を明記のこと⑥応募原稿の著作権は主催者に属します。

4.締め切り　二月二十日

5.送り先　新潟中央郵便局区内、NHK新潟放送局放送部、放送利用体験論文募集係